

東久留米市立第六小学校 第2学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
	国語		<ul style="list-style-type: none"> ・問題文の読み取りが苦手な児童がいる。 ・語彙が少なく、促音や片仮名で表す言葉を正しく書けない児童がいる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の感覚に乏しい児童や、ケアレスミスが続く児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックやリットルます、時計の模型やものさしなど、実物を使って考え体感させる活動を取り入れる。 ・問題文は指でなぞって読み、キーワードと数字に印を付けることを指導する。 	◎全ての単元テストにおいて総合平均が80点以上になるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・人やもの、自然との関わりを通した、実感を伴った気付きに差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人や物と積極的に関わることができるよう、体験学習を計画的に進める。観察や見学、発表を通して考えを深めることができるよう指導する。 	◎各単元で、核となる体験活動を1つ以上位置付ける。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・自信がなかったり、恥ずかしかったりして、表現活動をのびのびと行うことが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を参考にして活動できるよう、グループ活動を取り入れる。 	●各学期に一回は、グループ発表会や合奏の発表会を設け、人の前で発表する場を設ける。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えたことをのびのびと表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考える時間を十分に設け、友達と意見交換などをしながら、表現したいことを膨らませて創作活動ができるようにする。 	◎授業の始めに前時の振り返りとして作品を鑑賞する時間を設け、これからの学習に期待をもたせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心を引き出し、学習意欲が持続する授業をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心に基づいた題材設定を行い、活動の楽しさを十分に感じられる授業内容にする。 	○授業の終わりに楽しかったことを確認し、次時の授業に生かしながら柔軟な指導計画をつくる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・どこをどのようにすればその運動ができるのか考えたり、友達の良い動きを見付けたりすることが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「○○を～してみよう。」などと具体的な指示で様々な動きを体験させ、どのようにすることがよりよい動きにつながるのか考えさせていく。 ・体育ノートの記述や活動の様子から児童のよい動きを見取って価値付け、授業中に取り上げて全体に広めていく。 	○体育ノートの記述や授業中の活動の様子、発言等から児童の変容を見取る。（単元ごと）
道徳 特別の 教科	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに対して真剣に考えることができる児童が多いが、自分のこととして捉えたり、現実場面を想起して考えたりすることが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・終末の振り返り場面で、自分のこととして具体的に考えたり現実場面を想起して考えたりしている児童の感想を取り上げ、他の児童の思考を促す。 	○道徳ノートの記述や児童の発言等から児童の変容を丁寧に見取る。（毎時間）